

名古屋市政資料館

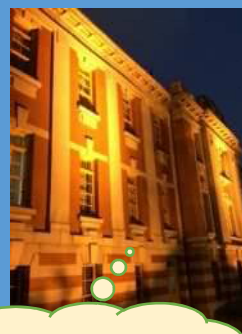
組 名前

第1じょうせつてんじ室に、
たて物のもけいがあるよ！



〈たて物〉

- レンガ・コンクリート(すな・石をセメントでかためたもの)で、できている。
- 右と左が同じ形
- 「さいばん所」として、1922年にできた。
- 国のじゅうよう文化ざい
→大切に作る気持ちで見学しよう。



夜はライトアップ
されているよ！



メモ

〈ふく原会議室〉

- じゅうたん
→1はり1はり、手ぬいでつくってあるよ。
- 「いす」と「つくえ」をふく^{げん}原(昔のようすにもどすこと)
→かべにはってあるかべ紙、天じょうも

メモ

歩くと
フカフカ！



〈第3じょうせつてんじ室〉

- 外国のたて物の形が、取り入れられるようになった。
- 大正時代から昭和時代になると、レンガづくりのほかに鉄こつ、鉄きんコンクリートづくりのたて物がふえてきた。

〈第6じょうせつてんじ室〉

- せんそうでやけたまちを、つくりなおす。
- ・「昭和12年のまちなみ」と「平成元年・19年のまちなみ」
→ちがうところは？

〈中央階だん室〉

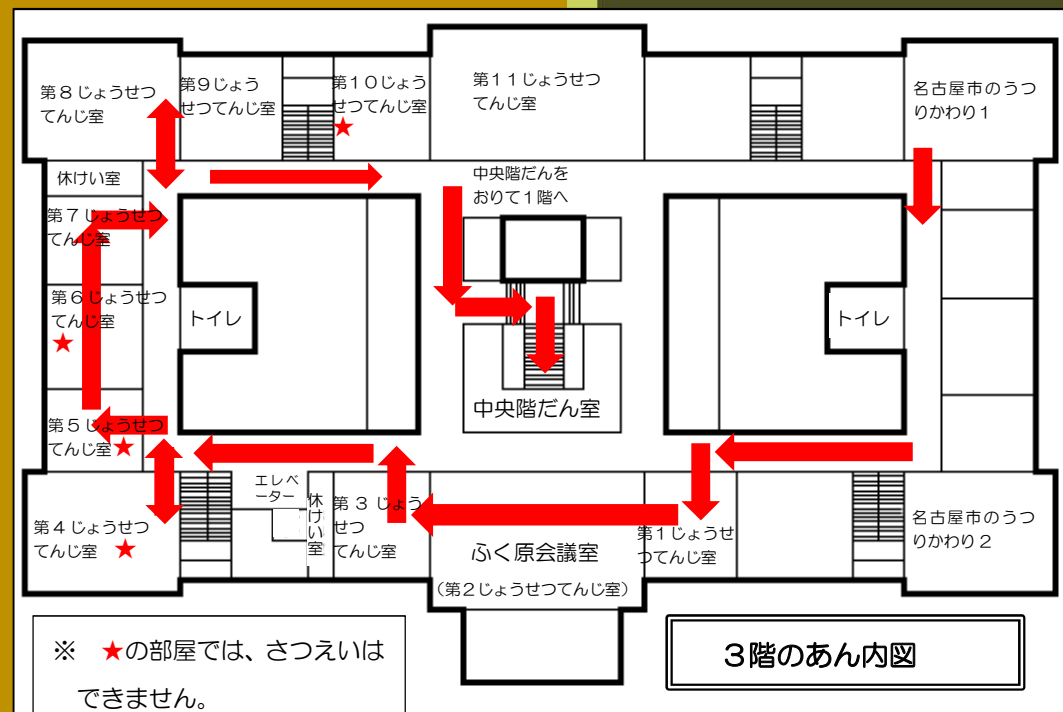
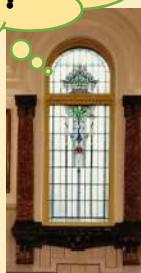


- 大理石でできた手すり
→貝の化石もあるよ。
- ステンドグラス
(きれいなもようや、絵がえがかれた色つきガラス)

何が、えがかれて
いるのかな？

メモ

- 音がひびくのでコンサートなどもやるよ。
→手をたたいてみよう。



〈第4じょうせつてんじ室〉

- 1889年に名古屋市たんじょう
- まわりの町や村をくっつけて、大きくなってきた。



メモ

〈第5じょうせつてんじ室〉

- 名古屋は、さん業の発てんとともに大きくなった。
- 明治のはじめのころは、ちょうちん・せんす・組ひもなど、
手でつくるさん業がさかえた。



- そのあと外国のぎじゅつが伝えられ、大きなきかいを使ったさん業(糸をつくる、ぬのをおる)が、発てんした。

- マッチ・セメントをつくる→自動車づくりなどがさかんに

メモ

〈第7じょうせつてんじ室〉

- 6つの「姉妹友こう都市」
- ・きゅう食の「姉妹友こう都市メニュー」を、思い出そう。

〈第8・第9じょうせつてんじ室〉

- 明治のころのほうてい (第8) →
〈だんの上〉 けんさつかん さいばんかん
〈だんの下〉 ひこく人 べんご人
- 今のほうてい (第9) →
〈だんの上〉 さいばんかん
〈だんの下〉 けんさつかん ひこく人 べんご人

この写真のほうていは、
明治のころ？ 今？



〈りゅうち場 (1階)〉

- 昔、さいばんを受ける人が入ったとされる場所

- ・ざっきょぼう (たくさんの人が入る部屋)
- ・どくぼう (一人部屋)

→中から開かないドア

何でかな？



どくぼう



ざっきょぼう

メモ